

# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 ロボテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,038	9.3	286	28.5	259	34.3	165	35.4
29年3月期第2四半期	2,780	1.7	223	12.2	192	13.6	122	10.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 226百万円 (78.5%) 29年3月期第2四半期 126百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	177.05	
29年3月期第2四半期	130.56	

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,868	3,874	47.1
29年3月期	7,209	3,732	49.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,703百万円 29年3月期 3,563百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	5.9	500	1.6	430	5.8	260	26.0	277.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,000,000 株	29年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	65,943 株	29年3月期	62,018 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	936,675 株	29年3月期2Q	938,025 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月22日開催の第134期定時株主総会において、株式併合について、承認可決され、平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株へ変更しました。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 7円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 27円72銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向で推移し、緩やかな回復基調を維持しておりますものの、労働力不足や北朝鮮情勢・米国の政策動向をはじめとする海外の政治経済の不確実性もあり、景気の先行きについては不透明感を払拭できない状況にあります。

このような状況の下、当社グループは経営スローガンである「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」を徹底させ、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、具体的な目標を定め確実に行動し、成果を獲得する、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、2017年5月に電子取引市場への対応やインターネットを活用した情報提供及び商品PRの強化などの売上拡大を目指した施策を行う「営業推進部」を新設し、「営業部」及び昨年度に設置した「営業企画部」との連携を図り、組織的な営業活動の更なる強化を進めております。加えて、ロブスターブランドの根幹である品質の維持・向上を強力に推し進めるべく、品質保証部門を独立させ、商品戦略に基づいた商品企画をより早く商品化するため、商品企画部門と商品設計部門の統合を行いました。

その結果、売上高は前年同期比9.3%増の30億3千8百万円（前年同期27億8千万円）となり、利益面では増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、営業利益で同28.5%増の2億8千6百万円（同2億2千3百万円）、経常利益で同34.3%増の2億5千9百万円（同1億9千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同35.4%増の1億6千5百万円（同1億2千2百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、過多であった流通在庫の正常化に向けて拡販努力を行ったモンキレンチやプライヤ類が好調な推移を見せ、また、新企画商品の継続的な販売もあって増加しました。ファスニング部門では、エアリーベッター、エアーナッター、工業用ファスナーなどが堅調な販売であったことに加え、超小型オートリベットフィーダーや住宅関連向けのファスニングツールが伸長し増加しました。切削工具部門については拡販努力をしておりますものの、価格競争の厳しさは継続しており、減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では韓国向けに拡販施策の奏功したモンキレンチや拡販努力と同国の一部業界の景況回復とが相まった電設工具の好調な販売により増加しました。ファスニング部門では米州向けのエアリーベッター等のファスニングツール類が全般的に好調に推移しておりますものの、その他の地域では流通在庫の過多状況継続により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比9.6%増の29億2千2百万円（前年同期26億6千7百万円）となりました。利益面では営業利益が増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、前年同期比32.6%増の2億3千万円（同1億7千3百万円）となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数はリニューアル工事による部分的な施設閉鎖期間がありましたものの、集客施策の効果などにより増加し、お客様一人当たり売上高については低下傾向が継続しておりましたが、前年度後半からは下げ止まり感を見せており、売上高は前年同期比2.6%増の1億1千5百万円（前年同期1億1千2百万円）となり、営業利益は、同14.2%増の5千6百万円（同4千9百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は78億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千9百万円増加しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比6億4千7百万円増の52億9千万円となりました。これは主に現金及び預金が増加する一方で、受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少したことによるものです。

固定資産は同1千2百万円増の25億7千8百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少がありましたものの、投資有価証券の時価評価による増加があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比6千2百万円増の25億5千7百万円となりました。これは主に買掛金の減少がありましたものの、未払法人税等や未払金が増加したことによるものです。

固定負債は同4億5千5百万円増の14億3千7百万円となりました。これは主に社債及び長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比1億4千1百万円増の38億7千4百万円となりました。これは主に配当支出に伴う利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ7億円増加(前年同期2億4千6百万円減少)し、19億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の減少や法人税等の支払がありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上により、資金が4億4千1百万円増加(前年同期1千7百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が2千万円減少(前年同期8千3百万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

リース債務の返済や配当金支払がありましたが、社債発行や借入金収入により資金が2億7千9百万円増加(前年同期1億8千万円減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月10日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,532,684	2,232,847
受取手形及び売掛金	1,383,060	1,343,395
商品及び製品	1,131,621	1,039,117
仕掛品	235,862	298,749
原材料及び貯蔵品	183,047	187,827
その他	182,477	193,866
貸倒引当金	△5,679	△5,729
流動資産合計	4,643,074	5,290,075
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	730,057	705,165
土地	738,508	738,508
その他（純額）	492,682	455,586
有形固定資産合計	1,961,248	1,899,260
無形固定資産	36,407	34,254
投資その他の資産	568,354	645,185
固定資産合計	2,566,010	2,578,700
資産合計	7,209,085	7,868,775
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	274,993	233,352
短期借入金	1,765,246	1,672,921
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	21,469	87,291
その他	432,741	503,583
流動負債合計	2,494,450	2,557,148
固定負債		
社債	—	240,000
長期借入金	716,021	910,702
退職給付に係る負債	55,301	59,923
その他	210,564	226,604
固定負債合計	981,887	1,437,230
負債合計	3,476,337	3,994,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,089,366	2,189,549
自己株式	△154,843	△163,676
株主資本合計	3,385,568	3,476,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,108	226,187
その他の包括利益累計額合計	178,108	226,187
非支配株主持分	169,070	171,289
純資産合計	3,732,747	3,874,396
負債純資産合計	7,209,085	7,868,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,780,470	3,038,153
売上原価	1,789,766	1,929,021
売上総利益	990,704	1,109,132
販売費及び一般管理費	767,572	822,373
営業利益	223,131	286,758
営業外収益		
受取利息	64	36
受取配当金	5,719	6,568
受取家賃	4,512	3,827
その他	3,357	5,895
営業外収益合計	13,653	16,327
営業外費用		
支払利息	17,300	15,757
売上割引	21,502	23,134
その他	5,162	5,187
営業外費用合計	43,965	44,079
経常利益	192,820	259,006
税金等調整前四半期純利益	192,820	259,006
法人税等	64,037	81,538
四半期純利益	128,783	177,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,315	11,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,467	165,842

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	128,783	177,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,804	49,172
その他の包括利益合計	△1,804	49,172
四半期包括利益	126,978	226,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,642	213,921
非支配株主に係る四半期包括利益	6,336	12,719

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	192,820	259,006
減価償却費	114,861	114,924
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△569	△23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,120	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,178	4,621
受取利息及び受取配当金	△5,783	△6,605
支払利息	17,300	15,757
為替差損益(△は益)	△146	△349
売上債権の増減額(△は増加)	31,654	39,665
たな卸資産の増減額(△は増加)	△224,036	24,835
その他の資産の増減額(△は増加)	△15,733	△11,236
仕入債務の増減額(△は減少)	22,639	△41,641
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,048	66,080
小計	122,016	465,036
利息及び配当金の受取額	5,784	6,605
利息の支払額	△18,103	△16,678
法人税等の支払額	△92,414	△16,521
法人税等の還付額	0	3,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,281	441,771
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△33,007	△16,362
無形固定資産の取得による支出	△640	△1,804
投資有価証券の取得による支出	△51,065	△3,200
その他	1,012	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,700	△20,987
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△103,333	46,665
長期借入れによる収入	240,000	480,000
長期借入金の返済による支出	△227,472	△424,309
社債の発行による収入	—	295,437
リース債務の返済による支出	△31,800	△33,771
自己株式の取得による支出	△94	△8,832
配当金の支払額	△46,902	△65,658
非支配株主への配当金の支払額	△10,500	△10,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,102	279,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△246,374	700,162
現金及び現金同等物の期首残高	1,370,541	1,206,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,124,167	1,906,246

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,667,472	112,998	2,780,470	—	2,780,470	2,780,470
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,667,472	112,998	2,780,470	—	2,780,470	2,780,470
セグメント利益	173,816	49,315	223,131	—	223,131	223,131

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,922,224	115,928	3,038,153	—	3,038,153	3,038,153
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,922,224	115,928	3,038,153	—	3,038,153	3,038,153
セグメント利益	230,421	56,337	286,758	—	286,758	286,758

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「レジャーその他事業」に記載しておりました株式会社ロブメディカルを前連結会計年度において清算し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「レジャーその他事業」を「レジャー事業」に変更しております。